



令和6年度勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務

業務報告書

令和7年3月

NATiON. ・NATiON. 沖縄・フォースヤード共同企業体

目次

第1章 業務計画書の作成

業務計画書

..... 4

第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討

..... 22

第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

①器具の選定手法

..... 25

②整備方法

..... 25

③導入機能の仕様

..... 26

④完了検査

..... 43

⑤整備後の状況

..... 49

第4章 勝連城跡の活用に資する常設設備の検討

①常設設備の導入に向けた整理

..... 60

②常設設備の導入手法

..... 63

③常設設備の導入スケジュール

..... 64

第5章 イベントの実施

①イベント内容の選定方法

..... 66

②イベント概要

..... 67

③実施結果

..... 77

第6章 メディアプロモーション活動

①メディアプロモーション方法

..... 88

②実施概要

..... 89

③実施結果

..... 91

第7章 効果検証

①効果検証手法について

..... 103

②アンケート実績

..... 106

③数値報告

..... 121

④今後の勝連城跡の活用方針

..... 123

⑤今後の環境整備

..... 123

第1章

業務計画書の作成

①業務計画書

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書



目次



▶ ナイトコンテンツ造成に向けた検討 Study for creation of night contents	Page 3
▶ ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備 Creation of an environment for the creation of night content	Page 5
▶ イベントの実施 Event planning & Implementation	Page 13
▶ メディプロモーション活動 Media Promotion	Page 18
▶ 効果検証 Effectiveness verification	Page 26
▶ マスタースケジュール/体制 Master schedule / structure	Page 31

①業務計画書



○ ナイトコンテンツ造成に 向けた検討

Study for creation of night contents

「令和5年度 勝連城跡の魅力向上・活性化事業」のご提案 | page 3

業務の主なポイント抽出



▶ 令和5年度に設置した環境整備を活用したの2期工事

- ① ナイトコンテンツ造成に必要な整備
- ② イベントとの相乗効果を図る仕組み構築
- ③ 夜間における勝連城跡の魅力を最大化
- ④ 維持管理費を抑え、周辺環境との調和を図る

▶ 勝連城跡の活用の幅を広げるための夜間イベントの実施

- ① 環境整備内容を活用
- ② 滞在型観光による来場者満足度向上
- ③ 民間事業者による活用促進
- ④ 夜間イベント
- ⑤ 来場者増加に資するもの
- ⑥ 認知度及び魅力向上に繋がる
- ⑦ 持続可能なイベントとなるよう必要な仕組み化
- ⑧ 自治体や観光物産協会等、地域連携

▶ 勝連城跡を広く周知するためのメディアプロモーション実施

- ① 幅広い年齢層にアプローチ
- ② 映像やSNSを積極的に活用

「令和5年度 勝連城跡の魅力向上・活性化事業」のご提案 | page 4

①業務計画書



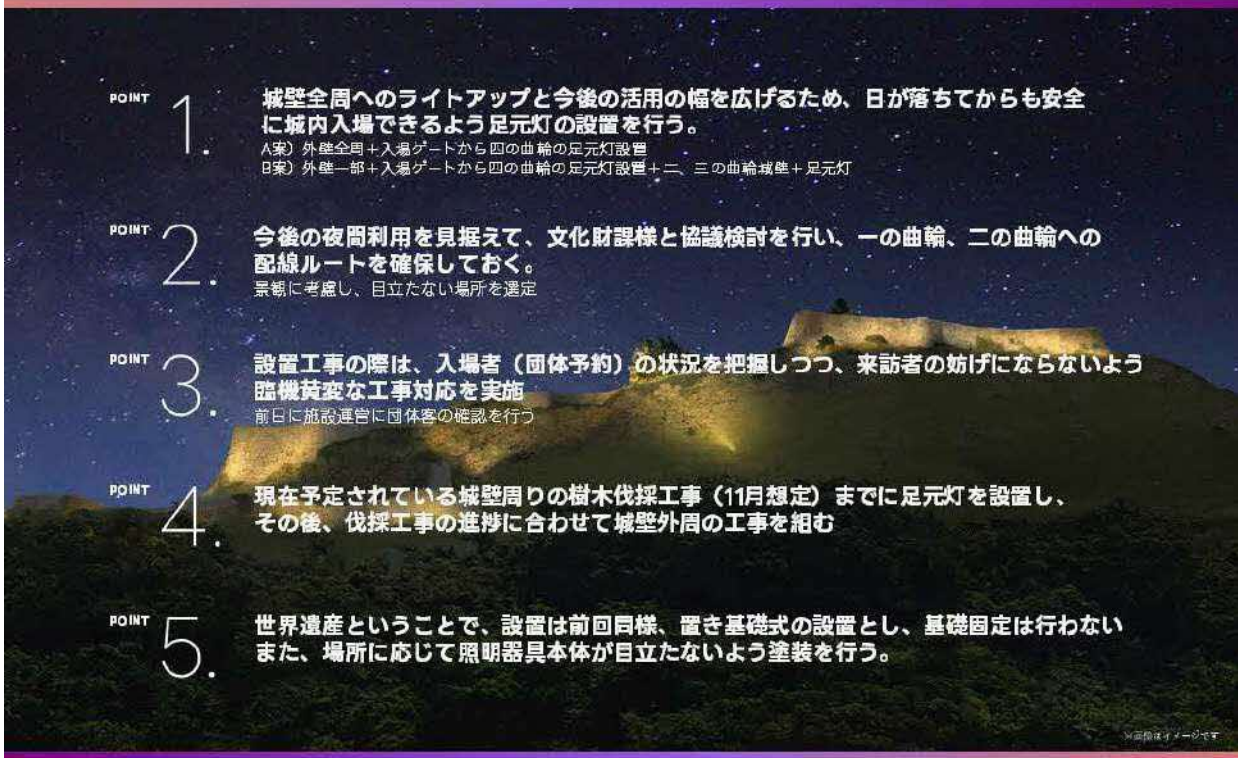
◯ ナイトコンテンツ造成に 向けた環境整備

Creation of an environment for the creation of night content

「令和5年度 遊園地等の魅力向上・誘客強化事業」のご提案 | page 5

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備



- 
- POINT 1. 城壁全周へのライトアップと今後の活用の幅を広げるため、日が落ちてからも安全に城内入場できるよう足元灯の設置を行う。
A案) 外壁全周+入場ゲートから四の曲輪の足元灯設置
B案) 外壁一部+入場ゲートから四の曲輪の足元灯設置+二、三の曲輪城壁+足元灯
- POINT 2. 今後の夜間利用を見据えて、文化財課様と協議検討を行い、一の曲輪、二の曲輪への配線ルートを確認しておく。
景観に考慮し、目立たない場所を選定
- POINT 3. 設置工事の際は、入場者（団体予約）の状況を把握しつつ、来訪者の妨げにならないよう臨機応変な工事対応を実施
前日に施設運営に団体客の確認を行う
- POINT 4. 現在予定されている城壁周りの樹木伐採工事（11月想定）までに足元灯を設置し、その後、伐採工事の進捗に合わせて城壁外周の工事を組む
- POINT 5. 世界遺産ということで、設置は前回同様、置き基礎式の設置とし、基礎固定は行わない
また、場所に応じて照明器具本体が目立たないように塗装を行う。

※画像はイメージです

「令和5年度 遊園地等の魅力向上・誘客強化事業」のご提案 | page 6

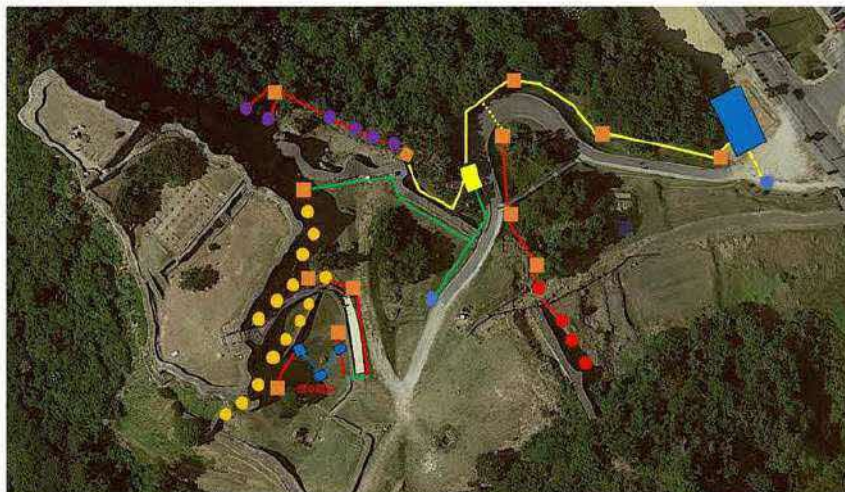
■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備



令和5年度の整備内容



工事概要
引込用配管（グレーカー・管径変更）MCO106/100
既存建物（1分電室）改造（電子台灯追加）
既存建物（新設）2分電室設置（一斉点灯イベント電への配管接続）
新設イベント電設置（指定色電装）→各照明器具への配管接続
管内注線 No.100路（右神所内）：指定色電装（SBC3/4）
No.20路（西尾御門前照明14台）：指定色電装（SBC3/4）
No.30路（一・二の曲輪エリア前照（6台））：指定色電装（SBC3/4）
No.40路（三曲輪エリア前照（14台））：指定色電装（SBC3/4）
No.50路（コンセント電装（20A））No.60路（コンセント電装（20A））
No.70路（付米用DL100（20A））No.80路（付米用DL200（20A））
※ イベント電装にタイマー設置も、点灯時間を設定。

施工方法
① 配管工事はこらもし配管とする。
② 照明器具・イベント電・ブルボックスは後述を設
置して、固定する。
③ 一・二の曲輪エリア照明（6台）
付付 城下設置、2台 城下へ設置
④ 西尾御門前照明（14台）
1台 御倉橋城下、3台 西尾御門前城下へ設置
⑤ 西尾御門前照明（14台）
指定建物付の石神所内（台）指定色電装（SBC3/4）
既存ヘンドル・カー・低山・既存配管利用し人廻を行う。

凡例
新設イベント電（黄色）
こらもし配管（3分電）（赤）
こらもし配管（2分電）（青）
こらもし配管（1分電）（緑）
こらもし配管（コードプロテクター）（黒）
石神所内（2台）
西尾御門前照明（14台）
一・二の曲輪照明（6台）
三曲輪照明（14台）
各ブルボックス
既存配管（黒）

「令和5年度 勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務」のご提案 | Page 17

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備



令和6年度 照明器具設置場所及び配管・配線ルート図

令和6年度 勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務（電気）（ライトアップ照明 配管ルート）



凡例

EPF4009A.32-500171（投光器）電装（32-500平熱）3台	●
EPF10114.320A.17（見元灯）非点灯型 2台	●
EPF10114.320A.17（見元灯）電装（32-500平熱）3台	●
EPF2002A.1500.06（投光器）電装（32-500平熱）3台	●
ブルボックス	■
新設イベント電	■
既設イベント電	■
こらもし配管（3分電）	■
こらもし配管（2分電）	■
こらもし配管（1分電）	■
こらもし配管（コードプロテクター）（電装）	■



● 既存照明器具を撤去し、新設照明を設置
○ 既存照明撤去、内装用（A・B等）
△ 既存照明撤去、内装用（A・B等）



● 新設照明（120V） ● 見元灯（340V）

令和5年2月24日 株式会社アビエンス・システムズ

「令和5年度 勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務」のご提案 | Page 18

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備 | プランB



lighting equipment | 使用照明器具

● 城壁ライトアップ ×3台

レディオック フラッドスポラート 210Wタイプ



高効率、高出力、長寿命。
全てを備えたLED投光器。

- 形式：E3042+ML SAN3-J
- 定格光束：20800lm
- 消費電力：107W(200V時)
- 平均演色評価数：Ra80

※令和5年度設置機材と同機種を設置場所に応じて塗装を行い設置

● 城内の城壁ライトアップ ×3台

レディオック フラッドネオ 60クラス



新技術による水、塩害、
結露に強いLEDユニット

- 形式：ECF6040W/L SAN3/DG
- 定格光束：6700lm
- 消費電力：61.5W(200V時)
- 平均演色評価数：Ra80
- 質量：2.7kg

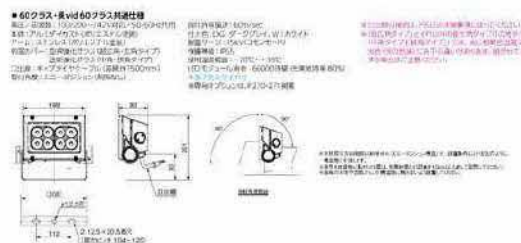
● 城内階段 足元灯 ×34台

レディオック レクト



新技術による水、塩害、
結露に強いLEDユニット

- 形式：EDW1001JA SAN1/D
- 定格光束：550lm
- 消費電力：8.5W
- 平均演色評価数：Ra80



「令和5年度 環境調達の取組向上・改善強化業務」のご提案 | page 9

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備



写真等はすべてイメージです

「令和5年度 環境調達の取組向上・改善強化業務」のご提案 | page 10

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備



Image Photo | 城内、足元灯設置イメージ



※写真はすべてイメージです

「令和5年度 勝連城跡の観光向上・訪客強化事業」のご提案 | page 11

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備



勝連城跡正面 石碑、樹木ライトアップ について

景観を生かすためのメリハリある照明演出

令和5年度の環境整備1期工事、本年度実施の2期工事で

グスク全周のライトアップが整います。

星空の下でライトアップされたグスクは、冒険の鎮と暮ら一面を見せ
てくれます。

荘厳さやスケール感が際立ちます。

照明演出はとても重要です。

一番人通りが多い、入場ゲートから見上げる際、石碑と樹木へ当てら

れている照明が目立つ、せっかくのグスク

ライトアップがぼやけてしまいます。

今回の2期工事にてワット数をもう少し落とした照明器具への変更を検討
したいです。



「令和5年度 勝連城跡の観光向上・訪客強化事業」のご提案 | page 12

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

イベントの実施

Event planning & Implementation

「令和6年度 勝連城跡の観光向上・活用強化事業」のご提案 | page 13

イベントの実施

令和6年11～12月開催イベント

ナイトコンテンツ整備を活かした夜間イベント。
地域事業者、沖縄事業者との連携で、勝連城跡の活用の幅を広げ、滞在型観光の実証イベントとして実施。

勝連城ナイト

勝連城跡の夜をワクワク！

世界遺産に泊まって、歴史を感じながらワクワク楽しいコンテンツで
うるまの夜を楽しむスペシャルイベント

金・土・日の3日間開催

金：16：00～21：00

土：11：00～20：00

日：11：00～20：00

※各コンテンツの料金設定は、今後要検討

1 星空キャンプ



- 3日間
- 事前申込制
- 有料

2 星空ナイトシネマ



- 3日間
- 19：00～21：00
- 無料

3 琉球ロックライブ



- 3日間
- 18：00～19：00
- 無料

4 星あそび



- 3日間
- 事前申込制
- 20：00～21：00
- 有料

5 キッチンカー



- 3日間
- 金：16：00～
- 土日：11：00～
- 有料

6 熱気球



- 3日間
- 11：00～13：00
- 19：00～21：00
- 有料

※写真はすべてイメージです。

「令和6年度 勝連城跡の観光向上・活用強化事業」のご提案 | page 14

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

イベントの実施

体験者数
約90名



4 星の専門店 空あそび

星空案内人「星ソムリエ」による星空観賞イベント。

- ◆ 3日間
- ◆ 事前申し込み（30名程度）
- ◆ 20:00～21:00（1日1回）
- ◆ 有料



体験者数
約50名



6 リバースバンジー

最高到達点18mの逆バンジージャンプ音頭と違う高い目標で勝運城跡ライトアップをご覧ください

- ◆ 有料
- ◆ 誰でも体験可能
- ◆ 12:00～20:30



5 キッチンカー

キャンプ宿泊者の食事や、コンテンツ参加のドリンクなどを提供。

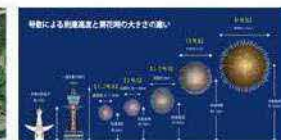
- ◆ 3日間
- ◆ 金：16:00～／土日：11:00～
- ◆ 有料



7 花火

1回約5分間の打ち上げ花火ショー
4号玉（打上げ高さ160m・直径130m程度）を目玉としたプログラム

- ◆ 無料 ◆ 誰でも観覧可能
- ◆ 20:55～21:00（5分程度）



※写真はすべてイメージです

「令和6年度 勝運城跡の歴史向上・活性化事業」のご提案 | page 17

メディプロモーション活動

Media Promotion

「令和6年度 勝運城跡の歴史向上・活性化事業」のご提案 | page 18

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

メディアプロモーション活動



勝連城跡を広く周知するため、SNSをはじめ地元メディアを活用し、幅広い層にアプローチして行きます。

SNS・WEB

- ① インスタグラム・X(旧Twitter) インフルエンサー
- ② 情報ポータルサイト
- ③ うるま市観光物産協会：公式ホームページ、インスタグラム、Facebook

沖縄県内メディア

- ① テレビ：沖縄テレビ、琉球放送
- ② ラジオ：RBCラジオ
- ③ 雑誌：おきなわいちば

その他メディア

- ① 那覇市：国際通りストリートビジョン（沖縄振興エリアマネジメント推進共同体）
- ② うるま市：ロードサイド大型LEDビジョン（4か所）
- ③ うるま市：広報うるま11月号

【令和5年度 勝連城跡の観光向上・誘客強化事業】のご提案 | page 19

メディアプロモーション活動 | SNS・WEB



① インスタグラム・X インフルエンサー

郷土愛を持って活動している団体やヒト、沖縄に特化したチャンネル運営者に個別依頼し、勝連城跡のライトアップやイベント告知を協力していただく

一般社団法人 サステナブルオキナワ 「100年先まで残したい沖縄」を築いていきたいという“想い”で活動しているU-22のコミュニティ団体。SNSを中心に情報発信やイベント実施を行っている。  https://www.instagram.com/sustainable_okinawa/ https://www.sustainable-okinawa.com/general-0-1	MANARIN 沖縄生まれ沖縄育ちの地元沖縄を愛する県産フォトグラファー。沖縄のおすすり情報や観光PRをTwitter、Instagram、YouTubeにて発信中。  https://www.instagram.com/manarin37/ https://twitter.com/MANARIN37 https://www.youtube.com/@manarin_okinawa	沖縄の景色で癒されたい (フォトグラファー) 沖縄が好きすぎて22年前に沖縄本島へ移住。本島の海やカフェやレストランを中心に紹介。  https://www.instagram.com/okinawa_story/
おきなわLikes 沖縄のこと、「ちょっと好き」から「もっと好き」に、とコンセプトに沖縄にまつわる様々なことを発信。  https://www.instagram.com/okinawa_likes/	okinawapress 週末なにをする？好きな人と、好きな場所へロコミから最新トレンドを紹介  https://www.instagram.com/okinawapress	JO 海だけじゃない『沖縄』を発信 海だけじゃない沖縄に出会う場所  https://www.instagram.com/joinok_okinawa/

※事業者決定後、アプローチリストを作成し個別コンタクトを取ります ※協力方には謝礼を検討しています

【令和5年度 勝連城跡の観光向上・誘客強化事業】のご提案 | page 20

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

メディアプロモーション活動 | SNS・WEB



② 情報ポータルサイト

沖縄に特化した情報ポータルサイトへの情報提供を行い、イベント情報やライトアップ情報を掲載してもらう

【ゴーヤどっとネット】（無料）

https://www.goyah.net/okinawa_event/



【おきなわ物語】（無料）

<https://www.okinawastory.jp/>



【いこーよ】（無料）

<https://iko-yo.net/>



「令和5年度 沖縄県観光の発展向上・誘客強化事業」のご提案 | page 21

メディアプロモーション活動 | SNS・WEB



③ うるま市観光物産協会：ホームページ、Instagram、Facebook

うるま市の観光情報のPRにおいて最も発信力の高いうるま市観光物産協会の協力のもと、勝連城跡のナイトコンテンツを事前、当日、事後と継続的にUPしていただき、認知拡大を狙う



公式ホームページ



Instagram



Facebook

「令和5年度 沖縄県観光の発展向上・誘客強化事業」のご提案 | page 22

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

効果検証



目標設定に関する弊社の考えと方針

本共同事業体は、うるま市の最終目的は「うるま市を代表する観光施設としての魅力向上・誘客強化に繋げる」ことであると認識しており、そのために本事業をととして実行可能な要素は以下3点があると考えております。

1. 「滞在型観光を促すためのナイトコンテンツの造成」
2. 「勝連城跡の活用可能性及び来場者の受入環境強化に必要な機能等の把握」
3. 「MICE 開催等をはじめとする事業参画の動機付けとなる環境構築」

上記目標を意識し、各業務内容の検証を行うことが重要

本事業における
業務内容

- (2) ナイトコンテンツ造成に向けた検討
- (3) ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備
- (4) 勝連城跡の活用に関する常設設備の検討
- (5) イベントの実施
- (6) メディアプロモーション
- (7) 効果検証

※なお、本共同事業体では、効果検証にあたっては類似の地方における魅力向上に関する事業の効果検証を多数実施した経験を持つメンバーをアサインし、専門的な検証を行うものとする

【令和5年度 勝連城跡の魅力向上・誘客強化事業】のご提案 | page 27

効果検証



目標達成に向けた指標の考え方

目標	目標達成に必要な要素	本業務との関連性	指標（定量は太字）
魅力向上・誘客力強化	滞在型観光へ寄与するためのナイトコンテンツ	(2) ナイトコンテンツ造成に向けた検討 (3) ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備 (4) 勝連城跡の活用に関する常設設備の検討	✓ 夜間の安全性 ✓ 将来の拡張性 ✓ 景観の良さ
		(5) イベントの実施	✓ 実施件数： ✓ 満足度： ✓ 来場者数： ✓ 再訪意欲：
		(6) メディアプロモーション	✓ SNS告知数： ✓ 掲載メディア件数：
	活用可能性と来場者の受入環境強化に資する機能の把握	(7) 効果検証	✓ 活用可能性案 ✓ 今後の拡張機能案
	事業参画のための環境整備	(7) 効果検証	✓ ロードマップ ✓ 事業参画に必要な施策案

【令和5年度 勝連城跡の魅力向上・誘客強化事業】のご提案 | page 28

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

効果検証



各指標の検証手法

指標（定量は太字>）	確認事項
✓ 夜間の安全性 ✓ 将来の拡張性 ✓ 景観の良さ	✓ 夜間の安全性について、利用者目線での確認が貴市を含め確認がとれていること ✓ 身体障がい者等の多様な利用者を想定した安全性であることを貴市を含め確認がとれていること ✓ 将来の拡張率がロードマップに示されており、それに対応できる環境整備となっていること ✓ 景観の良さ：利用者アンケートにて80%以上が良いと回答
✓ 実施件数 ✓ 満足度 ✓ 来場者数 ✓ 再訪意欲	✓ 実施件数：6件以上（継続的な実施であるためには月1回以上の開催が必要） ✓ 満足度：利用者アンケートにて80%以上が良いと回答 ✓ 来場者数（イベント）：1000名（1 イベントあたり150名-勝連城のキャパシティを踏まえ設定） ✓ 再訪意欲：利用者アンケートにて80%以上が再訪したいと回答
✓ SNS告知数 ✓ 掲載メディア件数	✓ SNS告知数：連携運営者10人以上 ✓ 掲載メディア件数：10件以上 ✓ メディアでの掲載結果についての分析が実施され、次年度に向けた対応が示されていること ✓ 全てのプロモーションの結果が検証されており、示唆が明示されていること
✓ 活用可能性案 ✓ 今後の拡張機能案	✓ 本年度の環境整備を踏まえた勝連城の活用可能性案が根拠とともに示されていること ✓ 来場者増加に向けて本年度の環境整備を踏まえた今後の拡張機能案が根拠とともに示されていること
✓ ロードマップ ✓ 事業者参画に必要な施策案	✓ 活用可能性案、拡張機能案を踏まえたロードマップが示されていること ✓ 事業者参画に向けて必要と考えられる機能が検討されていること ✓ 事業者参画に必要な拡張機能が示されていること

効果検証



具体的検証手法（案）

イベント来場者へのアンケート（案）

～勝連城利用者アンケート～

このたびは、勝連城にご来場いただき、誠にありがとうございました。今後よりいっそう満足していただけるものとするため、皆様のお気持ちを伺いたければと思います。

1. あなたの性別・年齢・住所・出身地・職業を教えてください。

(1) 性別：A. 男 B. 女 C. その他

(2) 年齢：_____代

(3) 住所：_____ (国) _____ (都・道・府・県) _____ (市・区・町・村)

(4) 訪問人数：_____名

<ライトアップに関するご質問>

2. ライトアップの総合的な評価についてお聞かせください。

A. 大変満足 B. 満足 C. どちらでもない D. 不満 E. その他

3. 照明との距離をお聞かせください。

4. 照明ライトアップについてご意見を聞かせください。

5. 今後あれば良いと思う機能があれば聞かせください。

メディア・媒体掲載結果



SNS分析



効果検証・示唆確認



■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書



マスタースケジュール/体制

Master schedule / Structure

「令和5年度 経産部局の協力向上（訪客強化業務）」のご提案 | page 31

全体スケジュール



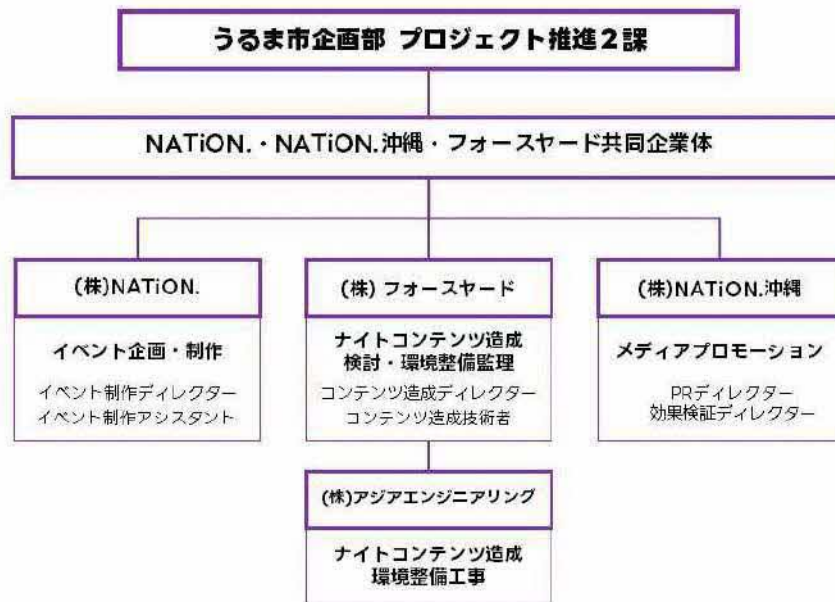
事業名		勝連城跡の魅力向上・訪客強化事業マスタースケジュール							2024年7月作成		
No.	内容(工数)	期間	2024年								
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
0	業務開始	8月2日(予定)	開始								
1	業務計画書作成	約20日間	基本計画								
2	サイトコンテンプ完成に向けた設計	約20日間	設計								
3	サイトコンテンプ完成に向けた環境整備	9月～12月									サイトアップ開始
L	資料集注	8月10日～9月中旬	←	資料集注・基礎制作							
L	ルート確認	随時				←	→	→	→		
L	ルート確認	随時		←	←	←	←	←	←		
L	配管配線工事	随時		←	←	←	←	←	←		
L	和室茶室改修工事	随時			←	←	←	←	←		
L	点検チェック・調整	随時			←	←	←	←	←	←	調整
4	勝連城跡の活用に関する客観意識の醸成	8月頃						リーサーチ・資料作成			
5	イベント実施	11月/12月頃									
6	メディアプロモーション	随時									
7	発表発表	2月									検証・振り返り
8	業務計画書・協議	3期	基本計画								実行計画
9	業務計画書作成	～3月14日まで									報告書提出

「令和5年度 経産部局の協力向上（訪客強化業務）」のご提案 | page 32

■第1章 業務計画書の作成

①業務計画書

実施体制図



第2章

ナイトコンテンツ造成に向けた検討

- ①ナイトコンテンツコンセプト
- ②ナイトコンテンツの造成方法
- ③イベントの実施方針
- ④通常時とイベント時の運用方法

■第2章 ナイトコンテンツ造成に向けた検討

①ナイトコンテンツコンセプト

令和5年度に設置した環境整備を活用した2期工事

- ① ナイトコンテンツ造成に必要な整備
- ② イベントとの相乗効果を図る仕組み構築
- ③ 夜間における勝連城跡の魅力を最大化
- ④ 維持管理費を抑えると共に、周辺環境との調和を図る

勝連城跡の活用の幅を広げるための夜間イベントの実施

- ① 環境整備内容を活用
- ② 滞在型観光による来場者満足度向上
- ③ 民間事業者による活用促進
- ④ 夜間イベント
- ⑤ 来場者増加に資するもの
- ⑥ 認知度及び魅力向上に繋がる
- ⑦ 持続可能なイベントとなるような取り組み
- ⑧ 自治体や観光物産協会等、地域連携

勝連城跡を広く周知するためのメディアプロモーション実施

- ① 幅広い年齢層にアプローチ
- ② 映像やSNSを積極的に活用

②ナイトコンテンツの造成方法

- ①城壁へのライトアップと今後の夜間利用の幅を広げるため、日が落ちてからも安全に城内入場できるよう足元灯の設置を行う。
- ②今後の夜間利用を見据えて、文化財課と協議検討を行い、一の曲輪、二の曲輪への配線ルートを確保しておく。
(景観に考慮し、目立たない場所を選定)
- ③設置工事の際は、入場者（団体予約）の状況を把握しつつ、来訪者の妨げにならないよう臨機応変な工事対応を実施
(前日に施設運営に団体客の確認を行う)
- ④現在予定されている城壁周りの樹木伐採工事（2024年11月想定）までに足元灯を設置。その後、伐採工事の進捗に合わせて城壁外周の工事を組む
- ⑤設置は置き基礎式の設置とし、基礎の埋設固定は行わない。
場所に応じて照明器具本体が目立たないよう塗装等を行う。

③イベントの実施方針

夜間活用を見据えた夜間イベントの企画実施。
地域事業者、沖縄事業者との連携で、勝連城跡の活用の幅を広げ、
滞在型観光の実証イベントとして実施。

勝連城ナイト

勝連城跡の夜をワクワク

世界遺産に泊まって、歴史を感じながらワクワク楽しいコンテンツでうるまの夜を楽しむスペシャルイベント

【コンテンツ】

星空キャンプ



星空ナイトシネマ



琉球ロックライブ



星あそび



キッチンカー



熱気球



※熱気球は、天候により左右されやすいため、企画変更を行い、沖縄事業者が運営しているバンジージャンプを誘致して実施。

④通常時とイベント時の運用方法

イベント開催時も通常営業を行い、リストバンドにてイベント参加者を判別。
夜間はイベント開催時は入場無料として一般開放。

第3章

ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

- ①器具の選定手法
- ②整備方法
- ③導入機能の仕様
- ④工事開始前現場調査
- ⑤完了検査
- ⑥整備後の状況

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

①器具の選定手法

あまわりパーク側の城壁ライトアップのための投光器

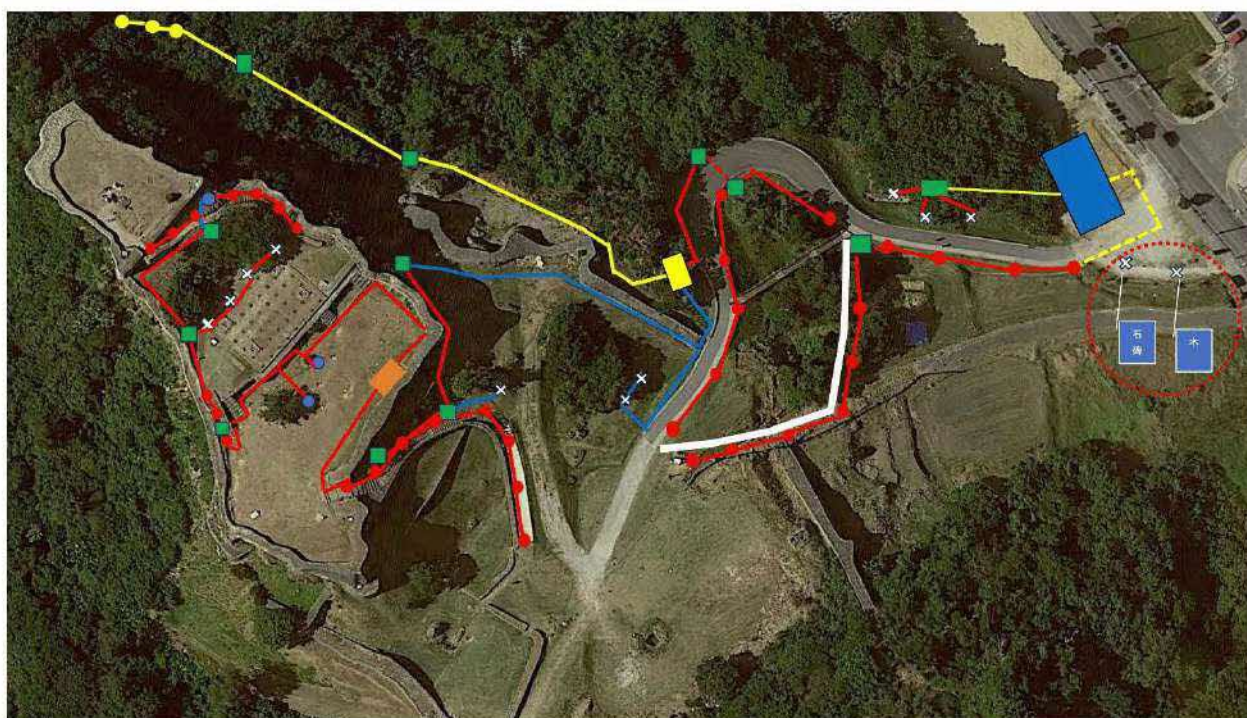
→ 一期工事を踏まえ、現状に沿う器具を選定（26～42ページの器具を参照）

夜間利用を見据えた、足元灯の設置

→ 置き基礎設置を前提に、強度、耐久性を兼ね備えた器具を選定

②整備方法

令和6年度 勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務（電気）（ライトアップ照明 配管ルート）



凡例

ECF4040W/L/32-50LITJ（投光器）塗装（32-50L半壁）3台	●	32-50L半壁（3台）	●	32-50L半壁（3台）	⌘	樹木照明（12台）	●	足元灯（34台）
EDW10011/LSAN1/2（足元灯）塗装無し 34台	●							
E30424M/LSAN8/J（スポット）塗装（32-50L半壁）3台	●							
ESP02002M/LSAN8/DG（樹木照明）塗装無し 12台	⌘							
ブルボックス	■							
新設イベント壁	■							
既設イベント壁	■							
ころがし配管（PE管）	—							
ころがし配管（PF管）（芝生面塗装）	—							
ころがし配管（コードプロテクタ）（塗装）	—							

既存照明器具を撤去し、樹木照明を新設取付
 木 既存照明撤去、再使用しない（処分）
 石 既存照明撤去、再使用しない（処分）

令和7年2月28日 株式会社アジエエンジニアリング

③導入機能の仕様（照明器具）



③導入機能の仕様

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③導入機能の仕様

防浸形〔IP67〕

出力固定形（非調光）

特性表

器具型式	周波数 (Hz)	定格電圧 (V)	入力電流 (A)	消費電力 (W)	全光束 (lm)	相関色温度 (K)	演色性	定格寿命 (h)
EDW10011/NSAN1/2	50/60	100	0.086	8.5	650	5000	Ra80	60,000 (実測値80%)
		200	0.044					
EDW10011/LSAN1/2		100	0.086		550	2700		
		200	0.044					

●特性は周囲温度25℃における標準値を示します。

仕 上 色 黒色（半艶）

口 出 線 クロロブレンキャブタイヤケーブル
0.75mm²×2芯 器具外寸法1000

安全上のご注意

- ・常時器具が水没する場所、振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所、油煙・薬品などが付着する場所、粉じんの多い場所、可燃物に接する場所では使用しないでください。
- ・器具点灯中に周囲温度が-20～+35℃の範囲を超える場所では使用しないでください。
- ・器具が直射日光を受ける状態で点灯させないでください。
- ・器具を安全に使用していただくためには、カタログや取扱説明書などを参照していただく必要があります。

注) ●LED素子は光色・明るさにばらつきがあり、同じ形式の商品でも光色・明るさが異なることがあります。

●器具は構造物等の平滑面に、付属の取付金具をご使用の上取付けてください。

過剰な力で締付けた場合、取付金具が変形し筐体が破損することがあります。

●器具の施工・取付けにあたっては、必ず取扱説明書・施工説明書をご確認ください。

●点灯した際に前面カバー全体が均一発光するものではありません。

LEDモジュールを中心に点灯し、前面カバー全体に拡散することで自然な光の広がりを持つ構造になっています。

●定格寿命はLEDの設計寿命であり、その寿命を保証するものではありません。

※ 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

部番	部品名	材質	数	備考
4	取付け金具	ステンレス	2	付属品
3	前面カバー	ポリカーボネート	1	乳白色
2	LEDモジュール	組立品	1	LED・電源回路搭載
1	筐体	PBT-GF30%	1	アクリル・ウレタン塗装

防浸形コンパクト樹脂充填LEDユニット LEDioc RECT				
品名	EDW10011/N(L) SAN1/2			
質量	500g	単位	mm	尺度
図番	KLS419025-3			

岩崎電気株式会社

2020.12.23

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③導入機能の仕様

屋外用

噴流形(IP65)

重耐塩塗装

1/10ビームの開き H:102°
V:110°

φ12.5穴 (取付用)
2-12.5×20.5長穴 (取付用)
(取付ピッチ104~120)

照射角度範囲
90° / 30°

落下防止ワイヤ(付属品)
リングキャッチ付(付属品)

※1	形 式	光源色 (K相当)	平均光束照度 (Ra)	器具光束 (lm)	光束維持時間 (h)	仕 上 色
	ECF4040W/D/32-50L-HT/J	6500	70	5600	※1 60000 (※維持率)	日達工 32-50L 半艶
	ECF4040W/N/32-50L-HT/J	5000		5900		
	ECF4040W/N/32-50L-HT/J			5300		
	ECF4040W/W/32-50L-HT/J	4000	80	5200		
	ECF4040W/L/32-50L-HT/J	2700		4700		
	ECF4040W/NH/32-50L-HT/J	2100※2	65	5000		

※1 チェック印は納入製品を示します。
 ※2 高圧ナトリウムランプ色相当の色温度です。
 ※3 光束維持時間は器具の保証期間ではありません。
 器具の耐用年限は従来の光源を使った製品と同様に8~10年での交換を推奨しています。

安全上のご注意

- 下記の使用環境・条件では使用しないでください。
 - ・周囲温度が、使用温度範囲を超える場所
 - ・腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所
 - ・湿度が85%を超える場所、及び水の便る場所
 - ・振動、衝撃の多い場所
 - ・粉塵の多い場所
 - ・可燃材に触れる場所
- 投光器は十分な強度を持つ構造物などの平滑な面に取り付けてください。移動灯として使用しないでください。
- 投光器全体や一部及び前面部に材質を問わず、覆ったり被せたりしないでください。特に、前面カバー部にフィルターを被せたりしないでください。
- 投光器に落ち葉やゴミ、虫の死骸などが溜まらないように、定期的な掃除を実施してください。
- 投光器を安全に使用いただくためには、カタログや取扱説明書を参照してください。

特性表(定格入力電源電圧100V/200V~242V(±6%))

	(V)	100	200	242
定格電圧	(V)	100	200	242
定格周波数	(Hz)	50 / 60		
入力電流	(A)	0.454	0.227	0.191
消費電力	(W)	45.3	44.4	44.4
突入電流	最大値 (A)	6.2	11.6	14.0
	持続時間 (msec)	1.68	2.00	2.00

口出線 クロロブレンキャブタイヤケーブル(2PNC1)
0.75mm²×3c(白,黒,赤;アース)
器具外寸法:1,500

受圧面積	正面方向	0.023m²
	側面方向	0.010m²
設計許容風速	60m/s	
使用温度範囲	-20℃~+35℃	

使用上の注意
 1. 電源・LEDは標準組み込みです。
 2. LEDの交換はできませんので、あらかじめご了承ください。
 3. LEDの発光色、明るさを含む器具の特性にはばらつきがありますので、あらかじめご了承ください。
 4. 器具取付方向制限はありませんが設置条件により構造物に干渉しますので注意してください。
 5. アームの角度調整は5度ピッチです。
 6. 落下防止ワイヤ、リングキャッチが付属されておりますので必ず取り付けください。

部番	部 品 名	材質・材厚	数	備 考
241003	電源		1	
7	前面カバー	強化ガラス t4	1	型押ガラス
6	反射鏡	アルミダイカスト	1	鏡面
5	アーム締付ねじ	アルミダイカスト	2	ポリエステル塗装+フッ素塗装
4	アーム	ステンレス t3	1	ポリエステル塗装+フッ素塗装
3	前面枠	ポリカーボネート	1	黒色
2	電源ケース	アルミダイカスト	1	ポリエステル塗装+フッ素塗装
1	本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル塗装+フッ素塗装

品 名 LED投光器
LED10c FLOOD NEO 40クラス(広角タイプ)
ECF4040(1)W/N(D,W,L,NH)/32-50L-HT/J

質量 2.0kg **単位** mm **尺度** 1:5

図 番 LLPD18401

岩崎電気株式会社

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③導入機能の仕様

屋外用

防雨形(IP43)

重耐塩塗装

ELS

器具形式	専用LED光源形式	光源色 (K相当)	光束維持率 (Ra)	定格光束 (lm)	LED光源寿命 (h)	器具仕上色
E30424M/L/32-50L-HT/J	LE180150HS1/2.4 (電圧: 100/200~240V, 50/60Hz)	2700	80	20800	60000 (光A規格準拠型)	日達工: 32-50L 半艶 (台座、アーム、保護カバー: 同色)
	LEM169131HS2A351 (調光式: 200V, 50Hz)			19100		
	LEM169131HS2B351 (調光式: 200V, 50Hz)			19100		

※1 保証値ではありません。LEDの設計寿命であり、その寿命を保証するものではありません。
照明器具の寿命は従来光源を使った製品と同様に8~10年での交換を推奨しています。

口出線
クロロブレンキャブタイヤケーブル
0.75mm²×2心(赤:プラス、青:マイナス)
器具外寸法: 500mm ※先端半田処理

使用温度範囲	受光面積	設計許容風速
-20℃~35℃	正面方向: 0.11m ² 側面方向: 0.09m ²	60m/s

1/2照度角	10°
1/10ビームの開き	60°
1/20ビームの開き	74°

安全上のご注意

- 下記の使用環境・条件では使用しないでください。
 - 周囲温度が、使用温度範囲を超える場所・湿度が常時85%を超える場所、及び水の濡れる場所
 - 振動や衝撃の多い場所・粉塵の多い場所
 - 腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所・可燃材に触れる場所
- 器具は十分な強度を持つ構造体等の平滑な面に取付けください。移動灯として使用しないでください。
- 器具全体や一部及び前面部に材質を問わず、傷つたり破れたりしないでください。特に、前面カバーにフィルムを被せたりしないでください。
- 分解ならびに改造をしないでください。光源部や保護カバーを外したりしないでください。
- 器具を安全に使用いただくためには、カタログや取扱説明書を参照してください。

8 保護カバー	ポリカーボネート	1	ウレタン塗装
7 内部反射鏡	ポリカーボネート	1	アルミ蒸着
6 ハンドル	ステンレス	1	
5 台座・アーム	鋼材 t4.5	1	溶融亜鉛めっき+フッ素塗装
4 光源筒	ステンレス	1	ポリエステル塗装+フッ素塗装
3 支持棒	アルミダイカスト	1	ポリエステル塗装+フッ素塗装
2 前面ガラス	強化ガラス t4	1	透明
1 反射鏡	アルミ板 t0.95	1	シリカガラス処理+フッ素塗装

LED投光器
LEDloc FLOOD SPOLART 210W (中角タイプ)

E30424M/L/32-50L-HT/J

質量 6.5kg 単位 mm 尺度 1:8

LLPD16625

岩崎電気株式会社

③導入機能の仕様



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③導入機能の仕様

屋外用

噴流形 (IP65)

ELS

※1 レ	形 式	光源色 (K相当)	平均演色評価数 (Ra)	定格光束 (lm)	LED光源寿命 (h)	仕 上 色
	ESP02002M/DSAN8/DG	6500	80	1600	60000 (劣化維持率80%)	ダークグレー (E色 N-30#)
	ESP02002M/NSAN8/DG	5000		1600		
	ESP02002M/WSAN8/DG	4000		1500		
	ESP02002M/LWSAN8/DG	3000		1450		
	ESP02002M/LSAN8/DG	2700		1400		
	ESP02002M/DSAN8/W	6500	80	1600	60000 (劣化維持率80%)	ホワイト (E色 N-95#)
	ESP02002M/NSAN8/W	5000		1600		
	ESP02002M/WSAN8/W	4000		1500		
	ESP02002M/LWSAN8/W	3000		1450		
	ESP02002M/LSAN8/W	2700		1400		

※1 チェック印は納入製品を示します。
 ※2 保証値ではありません。
 LEDの設計寿命であり、その寿命を保証するものではありません。
 照明器具の寿命は従来光源を使った製品と同様に8~10年での交換を推奨しています。

△ 安全上のご注意

- 下記の使用環境・条件では使用しないでください。
 - 周囲温度が、使用温度範囲を超える場所
 - 湿度が常時85%を超える場所、及び水の浸る場所
 - 振動や衝撃の多い場所
 - 海岸に近い塩害地域
 - 腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所
 - 粉塵の多い場所
 - 可燃材に触れる場所
- 器具は十分な強度を持つ構造物等の平滑な面に取り付けてください。
移動灯として使用しないでください。
- 器具全体や一部及び前面部に材質を問わず、覆ったり被せたりしないでください。
特に、前面カバー部にフィルターを被せたりしないでください。

特性表 (定格入力電源電圧 100V/200V (±6%))

電気特性	定格電圧 (V)		定格周波数 (Hz)		入力電流 (A)		消費電力 (W)		最大値 (A)		持続時間 (msec)	
	100	200	50	60	0.149	0.090	14.8	15.6	なし	なし	—	—
突入電流												

クロロブレンキャブタイヤケーブル
 口出線 0.75mm²×3心 (白、黒、赤：アース)
 器具外寸法: 1500mm ※先端半田処理

使用温度範囲	受圧面積	設計許容風速
−20℃~35℃	正面方向: 0.006m ² 側面方向: 0.014m ²	60m/s

使用上のご注意
 1. 電源装置、LEDは標準組み込みです。
 LEDの交換はできませんので、予めご了承ください。
 2. LEDの発光色、明るさを含む器具の特性にはバラツキがありますので、予めご了承ください。
 3. 本体取付方向制限はありませんが設置条件により構造物に干渉しますのでご注意ください。

190993

部番	部 品 名	材質・材厚	数	備 考
6	電源	箱込品	1	
5	前面カバー	強化ガラス t4	1	型押ガラス
4	反射鏡	アルミダイカスト	1	アルミ蒸着
3	アーム	ステンレス t3.0	1	ポリエステル塗装
2	電源ケース	アルミダイカスト	1	ポリエステル塗装
1	本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル塗装

LEDioc UNO
20クラス (中角タイプ) (アームタイプ)

ESP02002M/D(N)(W)(LW)(L)/SAN8/DG
 ESP02002M/D(N)(W)(LW)(L)/SAN8/W

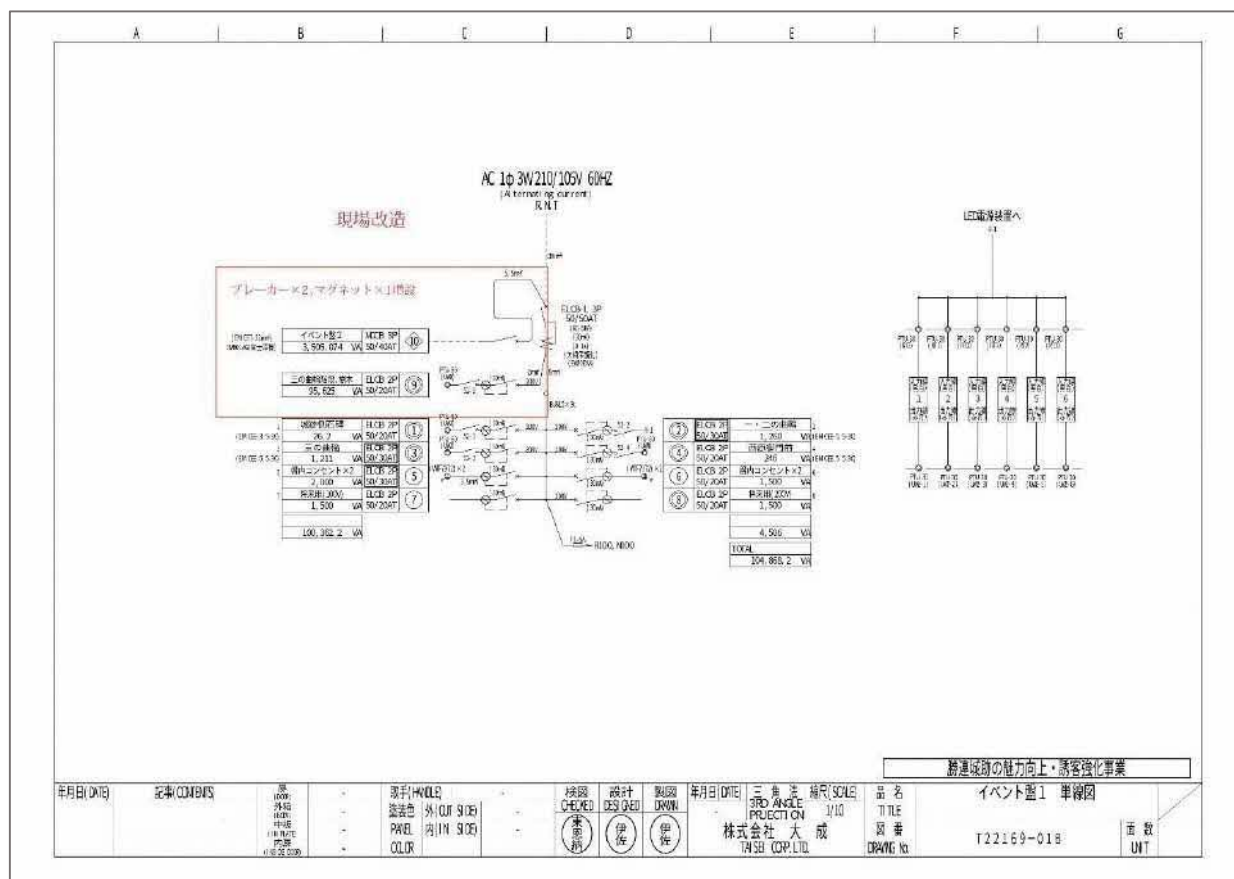
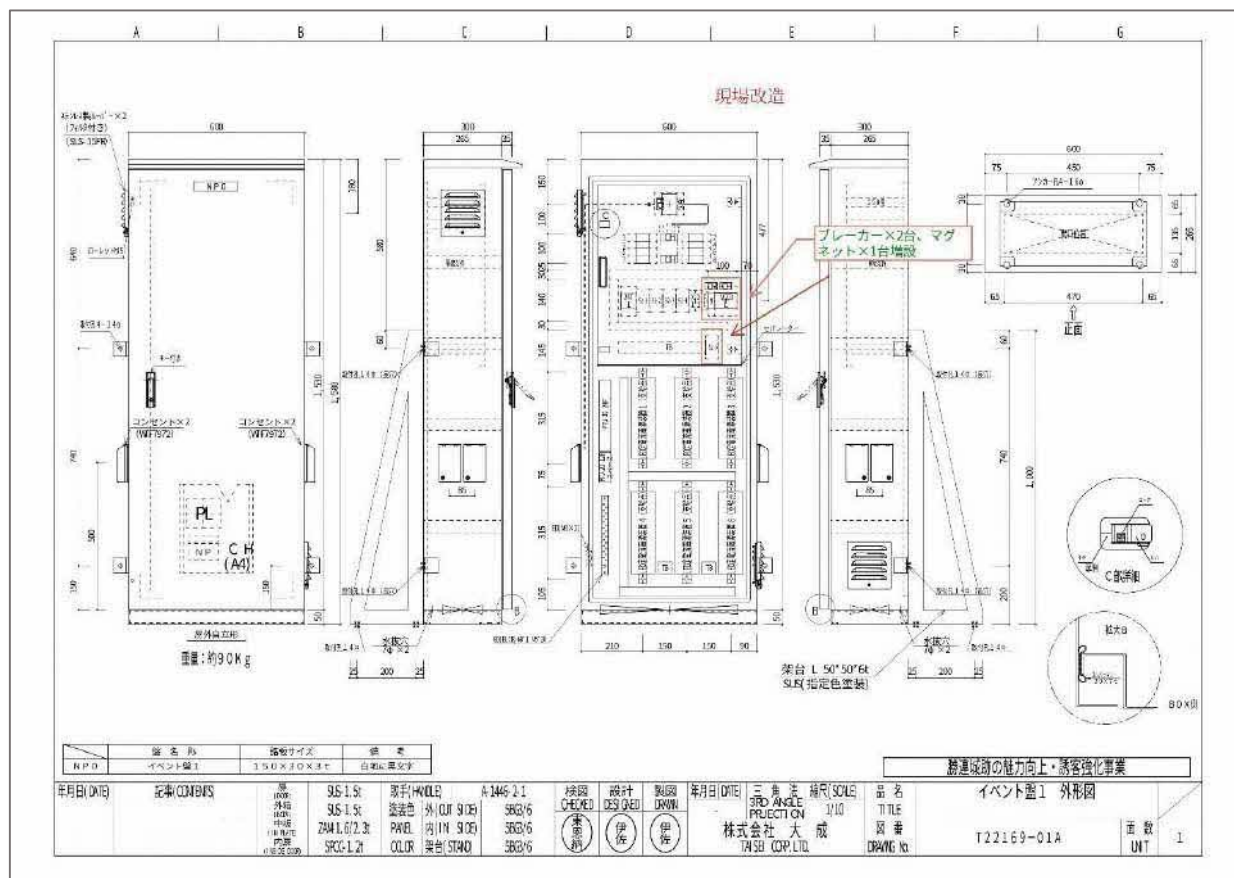
質量 1.35kg 単位 mm 尺度 1:4

図 番 LLPD09093

岩崎電気株式会社

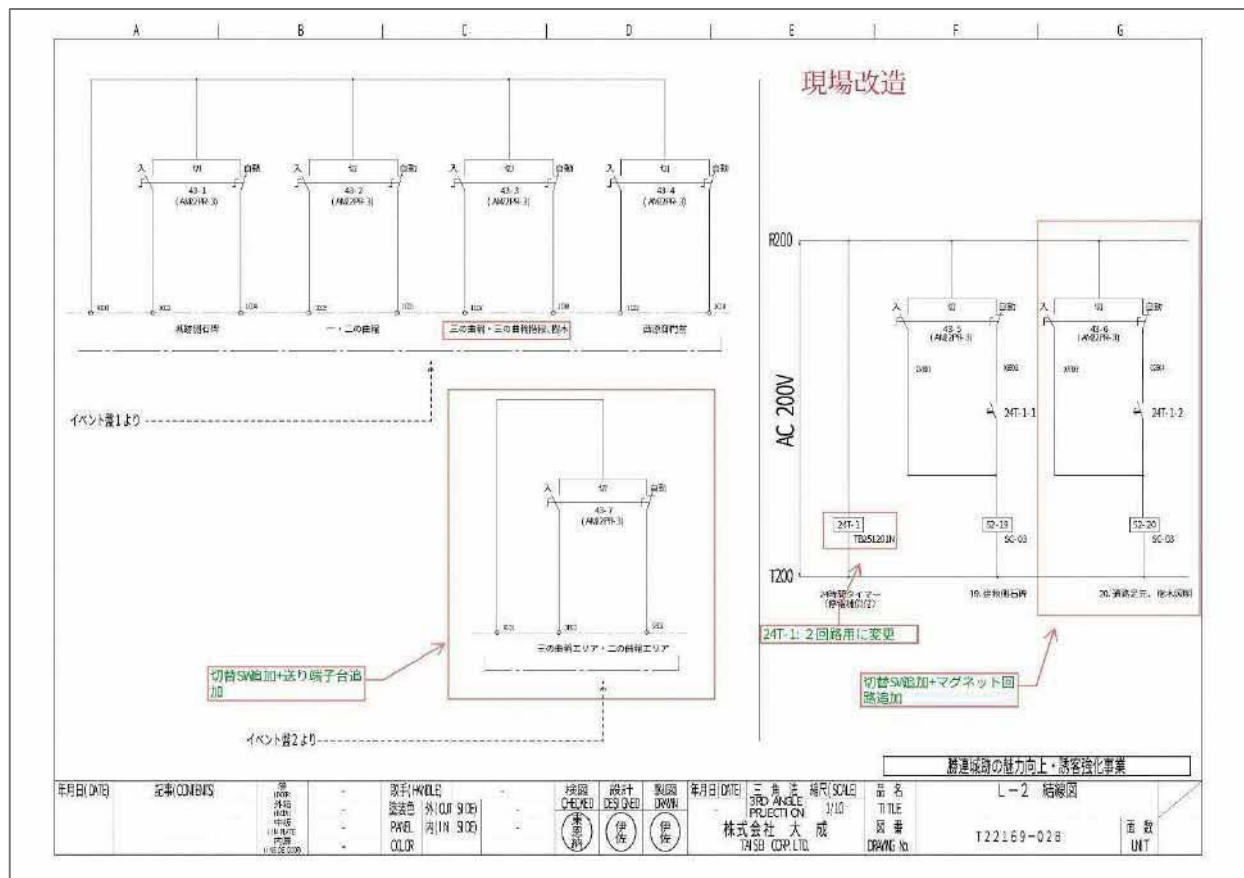
■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③導入機能の仕様（既存分電盤 | 改造箇所）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③導入機能の仕様（既存分電盤 | 改造箇所）



③導入機能の仕様（新設電盤）

年月日 DATE		記事 COMMENTS		面 SIDE		取手 HANDLE		機頭 CHEND		設計 DESIGNER		製図 DRAWN		年月日 DATE		縮尺 SCALE		品名 TITLE		塗装仕様書(粉体塗装) COATING SPECIFICATION (POWDER COATING)			
				外面 OUT SIDE		装設色 COLOR	内 IN SIDE			(実測)	伊佐	伊佐					株式会社 大成 DAIICHI CORP.LTD.	番番 DRAWING No.	T24020-00B	量数 UNIT			

塗装仕様書 (粉体塗装)

Coating specification (Powder Coating)

1. 適用(Application)
 製品の塗装に際しては、本仕様書を適用します。
 (This specification is regarding coating of cabinet panels, control boards, and power boards, and work must be done as required.)

2. 処理条件 (Requirement)

工程 Process	処理名 Name	処理条件 Requirement	備考 Note
1	脱脂処理 Degreasing	シリコンオフ(日本ペイント製品)で全面洗浄処理を行います。(詳細を別途参照) (All cleaned with silicon off. (A product of Nippon Paint Co., Ltd. please refer to details))	
2	下地処理 Undercoat	(両面分をバテ処理し、乾燥後ペーパーにて表面処理を行います。)(両方がある場合は) (Use compound paper coat both sides or partly and treat surface with sandpaper after drying.)	自然乾燥(+8時間) (Air-dry at 25°C or more hours)
3	仕上塗装 Finish coating	粉末樹脂ポリエステルケトン樹脂系粉末塗装(150g/L500μ) (Finish coating with polyesterurethane resin powder coating) 膜厚40μm以上	焼付温度(180℃) 30分 (Baking at 180°C for 30 min)

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

③導入機能の仕様（タイマー）

※取扱い説明書は別紙添付

Panasonic[®]
盤組込型
ソーラー式 タイムスイッチ
取扱・施工説明書
保管用

TB25/28シリーズ
品番：TB251101N 24時間式 1回路型
TB251201N 24時間式 2回路型
TB252101N 週間式 1回路型
TB252201N 週間式 2回路型
TB281N 高容量24時間式 1回路型
TB282N 高容量週間式 1回路型

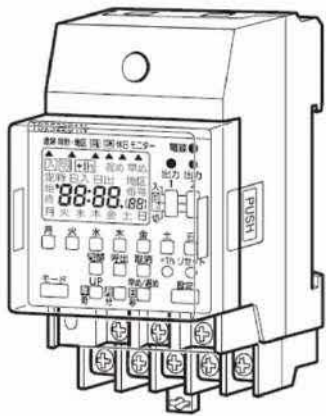
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

工事店様へ ・ ・ ・

- ・ 施工前に必ずこの説明書の施工編をお読みのうえ、正しく施工してください。
- ・ 施工には電気工事士の資格が必要です。
- ・ この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へ ・ ・ ・

- ・ 説明書の取扱編をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・ この説明書は大切に保管してください。



- 安全上のご注意 2ページ
- もくじ 3ページ
- 取扱編 4ページ
- 施工編 36ページ

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④完了検査（検査日：2025年2月14日 14：00～）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④完了検査



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④完了検査（城壁用投光器）

工事写真

工事名

令和6年度勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務



撮影年月日

令和 7 年 1 月 30 日

記事

投光器タイプ照明設置完了

撮影箇所

勝 連 城 跡 内



撮影年月日

令和 7 年 1 月 30 日

記事

投光器タイプ照明 点灯確認

撮影箇所

勝 連 城 跡 内

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④完了検査（城内配管）

工事写真

工事名

令和6年度勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務



撮影年月日	令和 7 年 1 月 30 日	記事	是正前
撮影箇所	勝 連 城 跡 内		



撮影年月日	令和 7 年 1 月 30 日	記事	是正後(フェイクグリーン取付)
撮影箇所	勝 連 城 跡 内		

■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④完了検査（城内配管）

工事写真

工事名

令和6年度勝連城跡の魅力向上・誘客強化業務



撮影年月日

令和 7 年 1 月 30 日

記事

是正前

撮影箇所

勝 連 城 跡 内



撮影年月日

令和 7 年 1 月 30 日

記事

是正後(フェイクグリーン取付)

撮影箇所

勝 連 城 跡 内

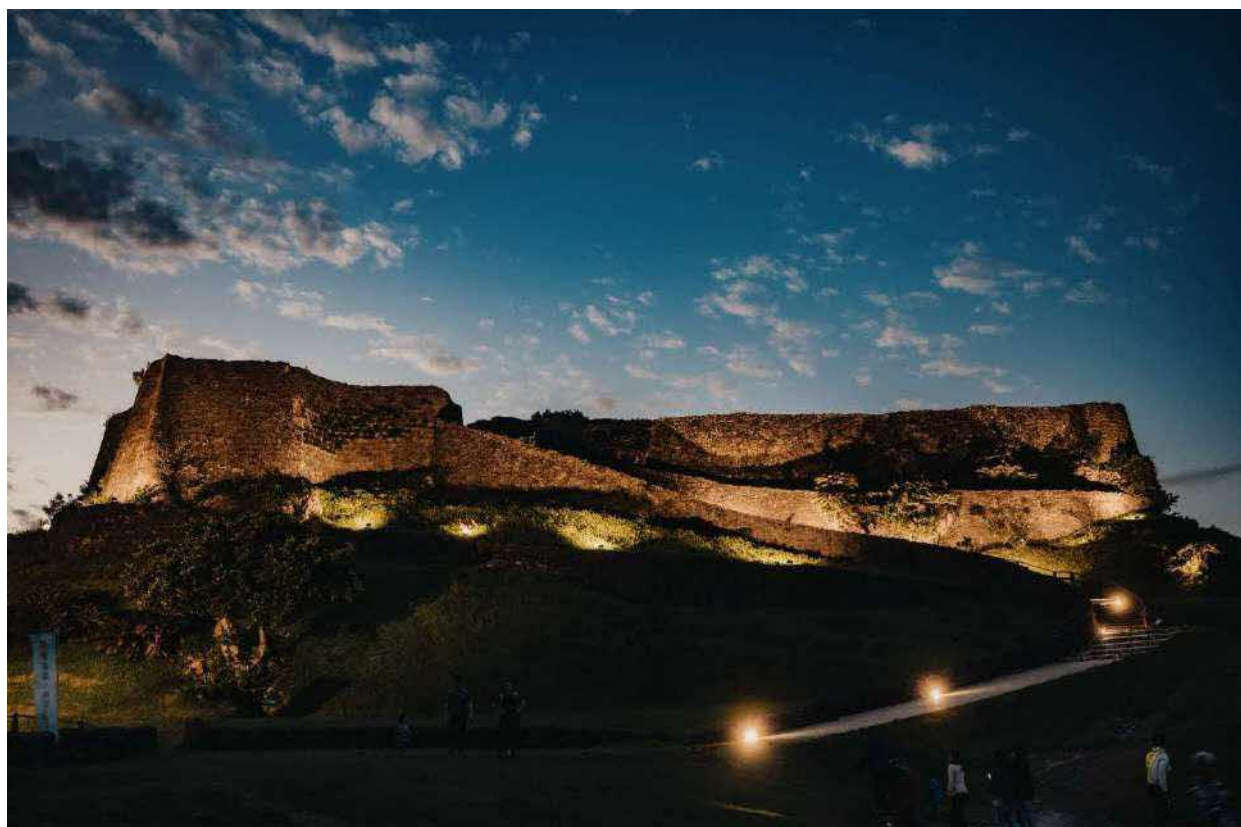
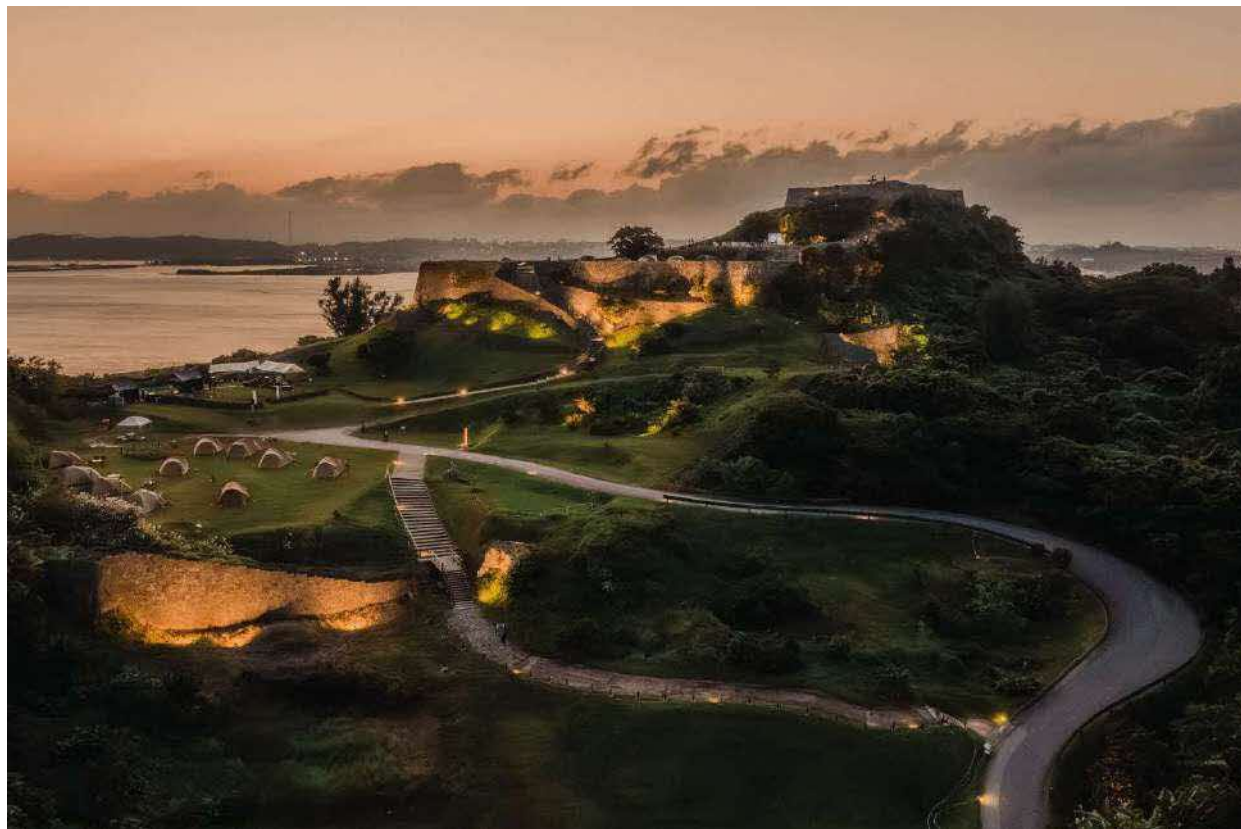
■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

④完了検査（足元灯及び城壁設置面ゴムシート）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況



⑤整備後の状況



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況（日中）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況（日中）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑥整備後の状況（日中）



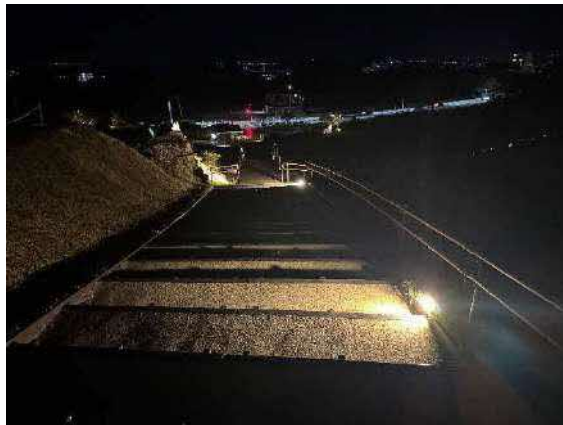
■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況（日中）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況（夜間）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況（夜間）



■第3章 ナイトコンテンツ造成に向けた環境整備

⑤整備後の状況（夜間）



第4章

勝連城跡の活用に資する常設設備の検討

- ①現状整理
- ②検討結果
- ③常設設備へ向けたスケジュール

■第4章 勝連城跡の活用に資する常設設備の検討

①現状整理

○本検討の実施背景

- ・地域活性化と経済波及効果が見込まれるMICE開催等の定期的な需要取り込みには、継続利用可能な常設設備の導入が必要となる。そのため、令和5年度、令和6年度に仮設物として設置した設備について常設設備に向けた検討を行う。

○〈仮設〉の取り扱いについて

- ①今後の環境整備（本格導入）に向けたモニタリング期間（基本1年間。更新あり）として設置
- ②『史跡勝連城跡保存管理計画』より文化財課の許可範囲として取り扱う
- ③1年毎に現状変更手続きを行う

○〈参考〉現状の取扱い（『史跡勝連城跡保存管理計画』p.102より）

許可権限	根拠法令と現状変更に係る行為
文化庁長官	1.文化財保護法第125条(現状変更等の制限及び原状回復の命令) i)下記2及び3以外で、史跡等の保存に影響を及ぼす行為
市教育委員会	2.文化財保護法施行令第5条第4項 i)小規模建築物で3カ月以内の期限を限って設置されるものの新築、増築、改築又は除去 ii)工作物(建築物を除く)の設置、改修若しくは除去 ^{※1} 又は道路の舗装若しくは修繕(それぞれ土地の掘削、盛土その他土地の形状の変更を伴わないものに限る。) iii)文化財保護法第115条第1項に規定する史跡名勝天然記念物の管理に必要な施 ^{※2} 設の設置、改修又は除去 iv)埋設されている電線、ガス管、水管又は下水道管の改修 v)木竹の伐採(危険防止のための必要な伐採に限る)
許可不要	3.文化財保護法第125条 i)維持の措置 ii)非常災害のために必要な応急措置 iii)保存に影響を及ぼす行為について影響が軽微なもの

※1 改修又は除去にあつては、設置の日から50年を経過していない工作物に係るものに限る。

※2 史跡名勝天然記念物の管理に必要な標識、説明板、境界標、囲いその他の施設

■第4章 勝連城跡の活用に資する常設設備の検討

①現状整理

○常設設備を検討している設備

- ・ライトアップ設備
令和5年度、令和6年度事業で実施した城壁や城内を照らす照明及び設置に伴う配管、配線など
- ・安全設備
勝連城跡の来訪者の転倒による怪我が発生する可能性がある箇所の安全設備（転落防護柵の設置等）

■第4章 勝連城跡の活用に資する常設設備の検討

①現状整理

○関係課ヒアリング結果

関係課（文化財課）とのヒアリングの結果、常設設備に向けて下記の検討が必要であると分かった。

①常設に向けた設計を行う

設置方法の検討や維持管理手法の検討

②「勝連城跡保存管理計画検討委員会」での検討

③『史跡勝連城跡保存管理計画』への反映

「第2章 7. 勝連城跡の本質的価値」

「第3章 保存管理と活用の理念と基本方針」

「第4章 保存管理」

などの該当箇所への反映

④文化庁への許可申請手続き

文化財保護法第125条に基づく申請を行う。（提出ルートなど要確認）

『史跡勝連城跡保存管理計画』p.103より

●文化庁長官による 現状変更 等の 許可が必要な行為

下記のア～ケに該当する行為に対しては、文化庁長官による現状変更の許可が必要である。
各行為の取扱基準は以下のとおりである。

また、現状変更等を認める場合には、事前の発掘調査（史跡の保存に影響を及ぼさない
軽易な建築物、工作物等の場合は立合い等）を行い、重要な遺構が確認された場合には
その保存を図る。

オ 防災上必要な施設の設置・改修

・人命・財産の安全にかかわる施設の設置、改修については、史跡指定範囲以外での設置
では意義を失うものについては、遺構、景観及び眺望に与える影響を十分に検討し軽減
したものについて認める。

ク 公開活用のための整備

・既存の施設・設備等を維持管理する行為は認める。

・復元構造物、遺構表示、解説ツール、園路 といった、解説のための施設・設備の新設に
ついては、設置の目的及び必要性を明確にし、設置場所や 遺構、景観および眺望に
与える影響、設置後の維持管理主体、方法 等を十分に検討したものについて認める。

⑤文化庁との補助事業の計画調整

東の曲輪整備計画との調整、補助事業として整理ができるか確認

⑥整備事業の実施

設計業務及び整備業務の発注を行う

②検討結果

○今回の検討により、勝連城跡における常設設備導入について、以下のような進展が見られた。

1. モニタリング期間でのデータ蓄積

仮設設備として設置した令和5年度、令和6年度のライトアップ設備について、約2年間の間に実施されたイベントで改善点が示された。この改善点を常設設備化に向けた設計や維持管理手法の検討に活用する予定である。

2. 文化財課との協働

文化財課との連携を深め、常設設備の設置が文化財の価値を損なわない形式で進められるよう調整が図っており、今後の環境整備及び常設設備についての検討においても、引き続き協議していくこととした。

3. 設計及び導入方法の検討

関係課とのヒアリングに基づき、設置方法及び維持管理手法の詳細な検討を行い、本設に向けた具体的な設計案の作成を進める。

4. 保存管理計画への反映作業

ライトアップ設備や安全設備の常設化が、文化財の本質的価値を保持しつつ、保存管理と活用に協調する形で、『史跡勝連城跡保存管理計画』の該当箇所への反映が推進されており、庁内外の委員会での議題として検討していくこと想定される。

5. 文化庁補助事業との連携と調整

東の曲輪整備計画と一貫した計画調整および補助事業としての整理が検討し、事業の持続可能性と経済的効果を見据えた取り組みへの準備を行うこととした。

6. 整備事業の実施に向けた整理

モニタリング期間のデータ蓄積内容をもとに、設計内容の具体化及び設計業務を令和9年度から行っていくこととした。

上記の検討結果をもとに、常設設備に向けた具体的なスケジュールで③で示す。

■第3章 勝連城跡の活用に資する常設設備の検討

③常設設備へ向けたスケジュール

常設に向けた導入検討スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
①整備計画・設計						
②「勝連城跡保存整備委員会」での検討 ※						
③「史城跡勝連城跡保存管理計画」への反映						
④文化庁への許可申請						
⑤補助事業の検討、申請						
⑥整備事業の実施計画、実施業務の発注						

※「勝連城跡保存整備委員会」は、東の曲輪整備をメインで行っている。ライトアップや歩道、インフラ整備といった環境整備に関する議論はされていないので、東の曲輪整備検討期間中に検討していく必要がある。